

### 夢を実現する履修戦略

— 経営学科を中心に —

石川弘道

#### 将来の夢は何ですか？

あなたはどのような希望を胸に入学しましたか。大企業の社長になる、自ら企業を起こす、公務員になる、専門の知識を身に付けて社会に貢献する、地元に戻って地域を活性化する、それとも世界を飛び回る夢ですか。趣味と家庭を大事にする平凡なサラリーマン。研究者。……まさかフリーターを夢見る人はいませんか。

#### 目標を設定しましょう

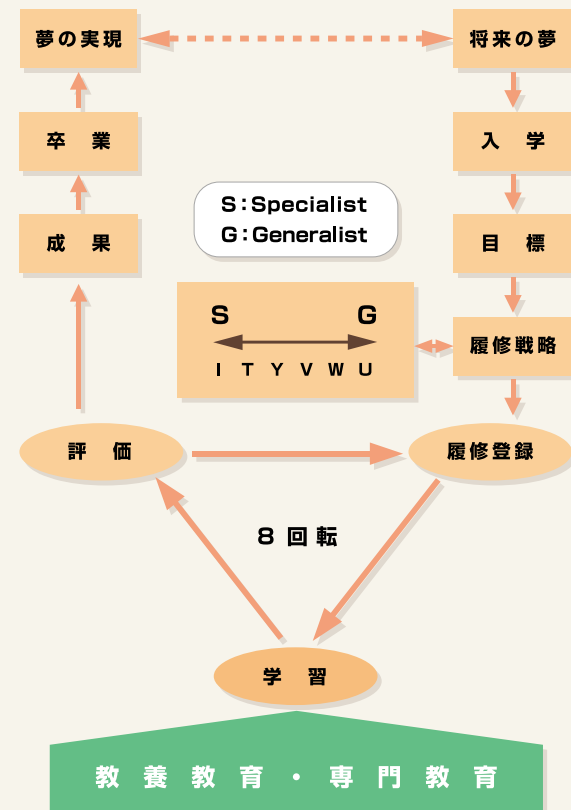
その夢を実現するために、大学4年間で何をなすべきかという具体的な目標を設定しましょう。目標を形成する要素には、学問だけでなく、クラブ活動やアルバイトもあります。ここでは経営学科での学習を念頭に、4年間の履修戦略のベースとなる目標設定のヒントを一つ紹介します。それは、スペシャリストとゼネラリストのどちらを志向するかということです。特定の専門領域の知識を身に付けた専門職であるスペシャリスト。幅広い知識によるオールラウンドプレイヤーであるゼネラリスト。目標が違えば、履修内容も異なります。

#### 履修戦略のパターン

経営学科では、「演習」を除く専門科目を7つの群にまとめています。「経営学の基礎と歴史」「国際化と経営戦略」「経営行動とマネジメント」「マーケティングと流通」「コンピュータと情報」「企業と会計」「経営と法」です。その他に「他学部・他学部」の授業も履修できますが、ここでは7つの群を中心に考えてみます。7つの群を横軸に、オセロのコマを2単位の科目に見立てて縦に配置します。履修科目を白、未履修科目を黒とし、群の並びを変えると、ITYVWUの文字が浮かび上がります。一般的には、Y型かV型となるでしょうが、特定の群を集中的に選択履修するI型から、各群をバランスよく選択履修するU型まで、多様な履修パターンが考えられます。ただし、経営学科では、各群から4単位以上、特定の群から10単位以上の選択を条件としていますから、I型は困難です。また、「基礎演習」「演習I」「演習II」の研究領域は中心の群と重なることが理想ですが、必ずしもその様な学生ばかりではありません。

#### 履修登録と学習

履修戦略のパターンに対応した4年間の履修計画を立てます。しかし、各期の単位取得状況や時間割の年度毎の変更等により、入学時に完全な計画を作ることは困難であり、半期ごとに履修登録→学習→評価のサイクルを繰り返し、その中で計画の修正を図ります。



HIROMICHI ISHIKAWA

経済学部教授  
1947年生まれ。埼玉県出身。  
早稲田大学大学院理工学研究科  
博士課程単位取得。  
『経営情報システム論』『経営科学』  
「マーケティングリサーチ」担当。  
『情報活用空間の探究』『経営情報  
の共有と活用』『経営情報の活用  
モデル』（中央経済社）が経営情  
報システム研究3部作。趣味の領  
域では『落語と情報学』（青蛙房）  
を著している。

